

横田地域の方限定



新しい横田地域統合小学校の校名を募集します！



現在、本町では、横田地域、仁多地域の小学校の再編統合を進めています。この度、横田地域の鳥上小学校、横田小学校、八川小学校、馬木小学校の4校が統合し、令和7年4月に新たに「横田地域統合小学校」が誕生します。新しい「横田地域統合小学校」が、地域とともに歩む学校としてふさわしい校名を皆様から募集します。

開校時期：令和7年4月
場所：現横田小学校（横田1025番地）を改修し開校

| | |
|----------|--|
| 募集内容 | 横田地域統合小学校の学校名 |
| 応募資格 | 奥出雲町横田地域在住の方 |
| 募集期間 | 令和4年11月28日(月)～ 令和4年12月31日(土) |
| 応募方法 | <p>応募用紙に必要事項をご記入の上①～④いずれかの方法で応募してください。</p> <p>①応募用紙を応募箱へ入れる。 【応募受付箱の設置場所】 奥出雲町役場仁多庁舎1階町民課／横田庁舎1階教育委員会学校再編推進課 横田地域小学校／横田中学校／島根県立横田高等学校／横田地域公民館</p> <p>②FAXでの提出（教育委員会学校再編推進課 FAX：0854-52-3048）</p> <p>③電子メールでの提出（gakkousaihen@town.okuizumo.shimane.jp） 電子メールで応募の場合は件名を「横田統合小学校 校名応募」としてください。</p> <p>④Googleフォームから応募 右のQRコードを読み取り、応募ページへアクセスしてください。 ※電話又は口頭による応募は受け付けできません。</p> |
| 応募条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・応募は1人1点まで応募できます。 ・応募数の多かったものを採用するものではありません。 ・決定した校名の著作権は、奥出雲町に帰属し、著作人格権の行使はできません。 ・応募用紙の返却はいたしません。 ・応募に要する費用は、応募者の負担となります。 ・応募用紙は、11月自治会配布及び町ホームページ「奥出雲町の教育」内の「教育委員会からのお知らせ」にてご確認ください。 |
| その他 | ・個人情報、学校名を募集する目的以外で使用しません。 |
| 選定方法について | <ul style="list-style-type: none"> ・応募された学校名の中から、横田地域学校再編統合推進委員会で数点の候補を選考した後、奥出雲町長が校名案を決定し、議会に諮り決定します。 ・決定された校名については、町のホームページ、広報紙等で周知する予定です。 |

＜横田地域統合小学校 校名募集に関するお問い合わせ＞
 奥出雲町教育委員会学校再編推進課 Tel 0854-52-2206 Fax 0854-52-3048

横田高校

横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」

陸上部、中国大会に出場！



9月に行われた県高校新人陸上競技大会の、男子4×400mリレーにおいて、第3位に入賞を果たしました（記録は3分36秒37）。この結果により、10月1日・2日に山口県の「維新みらいふスタジアム」で行われた中国大会に出場しました。

中国大会では、入賞となる8位以内には届きませんでしたが、3分30秒24と県大会のチーム記録を大きく更新しました。大会に参加した選手は、「初めての中国大会で緊張すると思っていたけど、大会では冷静に自分たちの走りをするのができた。来年の県総体でも結果を出し、中国総体に出場できるようにトレーニングを重ねたい。」「自分たちの走りが通用するのかなという不安と、初めての中国大会でわくわくする気持ちがあったが、レースはとにかく楽しかった。中国総体でも走れるように頑張りたい。」と話しました。

各部活動、個人でのボランティア活動など、たくさんの方々が活躍していることは横田高校の誇りです。引き続き、横田高校の活躍にぜひ注目ください！



町立奥出雲病院コーナー

中学生の職場体験が10月4日から6日までの3日間、奥出雲病院で行われ、6名の生徒さんが体験をしました。初日は緊張もあり、たいへん疲れた様子でしたが、徐々に慣れ、最終日まで元気に体験することができました。体験を振り返っての感想を「奥出雲病院は、患者さんを一番に思いやる病院です」「奥出雲病院は温かいところですよ」と言ってくれました。奥出雲町のこれからの医療を担ってくれるよう、期待しています！

環境にもお財布にもやさしい生活にチャレンジ!!

食品ロスを減らして節約

小麦粉をはじめとした食品が高騰し、家計にダメージを与えています。上手にやりくりをする必要がある一方で、見落としがちなのが食品ロスです。4人家族で捨てていると言われている毎年約6万円の食品ロスを減らすことで、値上げ分の家計負担を減らすことができます。お勧めなのが「1週間献立作り」とまとめ買いです。食費が15%ダウン、生ごみが10%減らせたと感じた人もいます。家族の健康を考えながら一週間の献立作りは大変ですが、助けられるアプリやサイトも種類豊富です。冷蔵庫の中にある食材やストックを確認して買い物に行き、安く手に入れた食材を調理しやすいように工夫して冷凍したり、マリネ、ごま和えなどの常備惣菜を作り置きしましょう。楽しんで手間と時間と食費をやりくりでき、食材を無駄なく使えますよ。

